



●熱中症をしっかり予防しましょう



低年齢ほど危険な 熱中症

本格的な夏がやってきました！強い日ざしの中で心配になるのが熱中症です。0、1、2歳のころは、体温調節の機能が未熟で、代謝も活発なので、多くの水分が必要です。こまめな水分補給を！

こんな様子が見られたら…急ぎ病院へ！

- 唇や皮膚がかさかさしている
- おしっこが普段よりも少ない
- 暑いのに汗をかいていない
- 顔色が赤い、または青白い
- だっこをすると体がほてっている
- 一日中、うとうとしている
- くったりしている



こんなときは救急車を！

- 急激に 39℃以上の熱が出た
- けいれんしている
- 意識がない
- 水をまったく飲まない



◇就学前の子どものマスク着用について◇

2歳以上は、**他者との距離にかかわらずマスク着用を一律には求めています**。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

2才未満は、**マスク着用は推奨しません**。

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ではない場面では、マスクを外すことを推奨します。マスクを着用しない場合でも引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

令和4年5月20日付『厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部
及び子ども家庭局事務連絡』より

当園では、幼児クラスのお子さんにはマスク着用をお願いしていますが、此頃の猛暑や上記通達を受け、より一層熱中症予防に努めていくところであります。保育中も場面に応じ、マスクを外していきます。

ご家庭でもお出かけ時など、マスク着用の際はお子さんの体調に十分配慮ください。

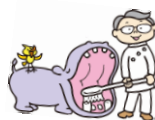


歯のおはなし会をしました！

幼児さん対象に歯のおはなし会をしました。歯は何のためにあるの？歯がなかったらどうなるの？元気な歯でいるためにできることはなんだろう？みんなで考えたり、動物にも歯はどんな形かな？と写真を見たりしました。“家でも仕上げ磨きやってもらってるよ！”と教えてくれたり、“歯医者さん行ったよ！”と話してくれたりする子もいました。

歯科検診では、むし歯のあるお子さんは少なく、保護者の方の歯科衛生に対する意識の高さを感じました。

受診が必要なお子さんは早めに受診しましょう。普段から、かかりつけの歯医者さんを作っておくと



●夏の遊びを安全に楽しむために

川やプールで遊ぶときの注意点

- 必ず大人が付き添い、子どもから目を離さない。
- 体の調子が悪いときは、遊ばない。
- 当日の天候に注意する。
- 必要に応じてライフジャケットを着用する。
- プールサイドはすべりやすくなっているので、走らない。



家庭でのプール事故を防ぐ！

子どもは水深10cmほどでも、おぼれることがあります。家庭などでビニールプールを使用して遊ぶ際には、次のことに注意しましょう。

- 目を離さない。
- 子どもたちだけで遊ばせない。



子どもだけを残して、車から離れないで！

いくらエアコンをつけていても、夏の暑い時期、子どもは車内で熱中症になることがあります。次のことを心にとめてください。

- 短時間でも、子どもだけ残し、車から離れない。
- シートに座らせる場合は、高温になる金属にも注意する。



今月の予定

- 4日(月) もみじ組 身体測定
- 5日(火) あんず組 身体測定
- 6日(水) たんぽぽ組 身体測定
- 7日(木) もり組 身体測定
- 8日(金) うみ組 身体測定
- 11日(月) にじ組 身体測定
- 28日(木) 園医診察(0歳児)

6月の感染症状況

- ノロウイルス感染症 あんず組1名
- ウィルス性胃腸炎 あんず組2名
- 胃腸炎 あんず組1名 うみ組4名